



計画の推進体制

第4章 計画の推進体制

4-1 計画の推進体制

本市における観光施策の実施と効果検証にあたり、農業、商業、工業、まちづくり、市民生活などの庁内関係部署のみならず、観光関連団体・事業者や市民と緊密に連携した横断的な推進体制を構築します。

(1) 計画の推進体制の構築

① 庁内組織の横断的連携機能の充実

庁内体制においては、環境経済部観光振興課が観光関連団体・事業者との窓口機能の役割を担いながら、関係部署との横断的連携によって総合的な観光施策の推進を図ります。また、国や県、周辺自治体などとの調整・連携を積極的に図っていきます。

② 民間企業・団体による推進体制の確立

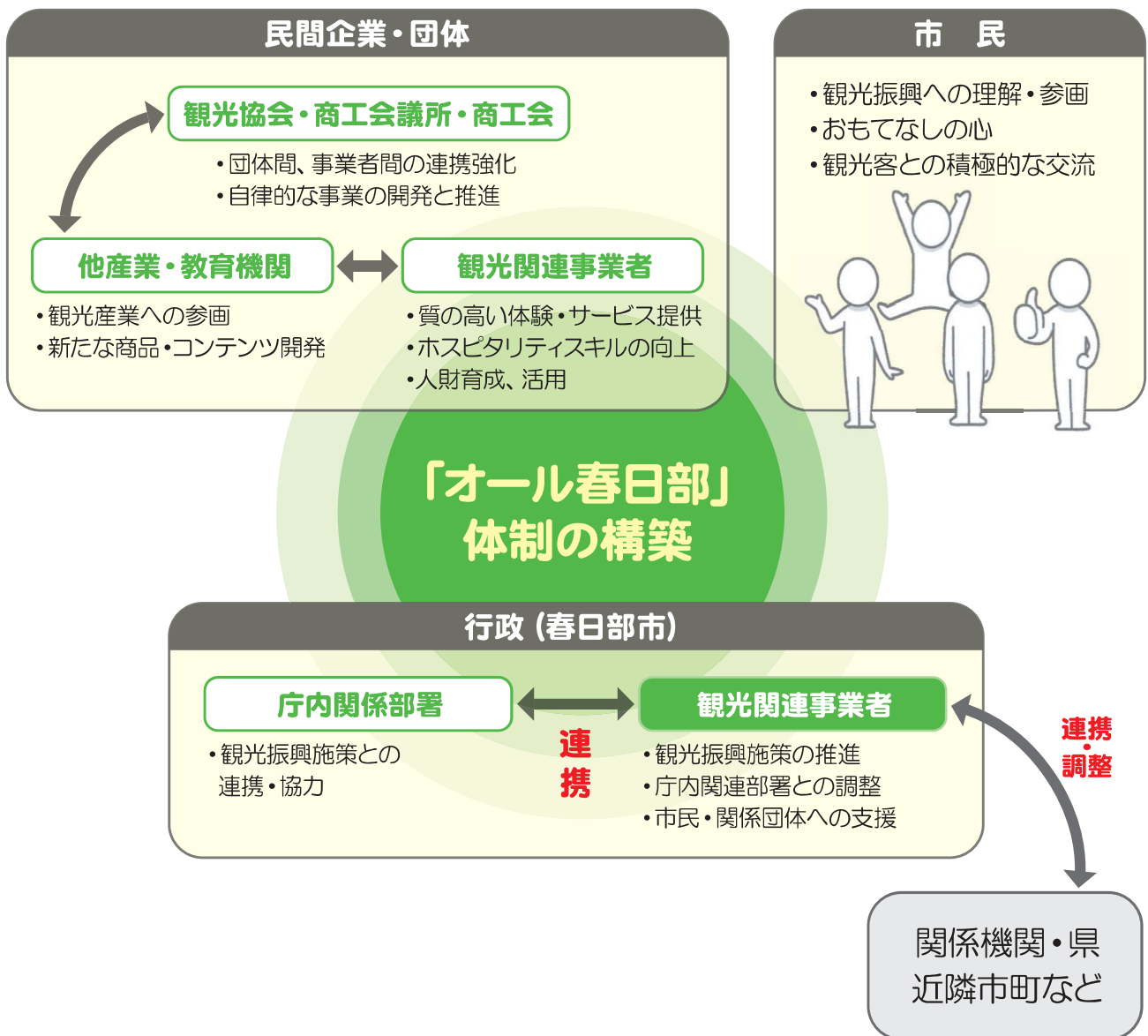
“観光まちづくり”の推進にあたっては、観光産業の担い手となる観光関連事業者や観光関連団体、大学などの教育機関の果たす役割は大きいと言えます。

その中でも、個々の事業者が有機的に連携していくためには、観光協会や商工会議所、商工会の有するネットワークをプラットフォームの機能として強化していくことが望まれます。

③ 官民学の密接な連携による推進

官民学の密接な横断的連携を推し進め、観光の将来像を共有する「オール春日部」体制で本市の観光機運を盛り上げ、それぞれの役割分担を踏まえ、計画の実現に取り組むことを目指します。

体制のイメージ図



【牛島古川公園のひまわり畑】

(2) 観光推進における役割分担

① 市民の役割

- 地域に対する誇りと愛着を育み、観光ビジョンの実現に向けた取組に積極的な参加が期待されます。
- 観光客を“おもてなしの心”でお出迎えすることが期待されます。
- 観光ガイドや通訳のボランティアなどの活動における観光客との積極的な交流により、双方の満足度を向上していくことが期待されます。

② 観光関連事業者の役割

- 観光産業の担い手として、事業活動を通じて来訪者に快適なサービスと唯一性の高い体験価値を提供し、来訪者の満足度向上と本市の魅力向上に努めることが期待されます。
- 商工業者
 - 商業では、ご当地を代表する新たなメニュー開発や本市のブランディング戦略に則った商品開発による観光の魅力向上に向けた取組が期待されます。
 - 工業では、既存の技術や歴史的背景を活かし、現代のニーズや暮らしにマッチした訴求力・話題性のある商品開発による観光の魅力向上に向けた取組が期待されます。
- 農業者
 - さまざまな農産物を栽培・販売する農業者では、収穫体験や農業見学など観光客誘致に繋がる取組を積極的に実施することが期待されます。
- 交通事業者
 - 市内の観光スポットや事業者と緊密に連携した周遊の促進に向けた各種の取組が期待されます。
 - 来訪者への“おもてなし”や観光情報の提供を通じたプロモーターとしての役割も期待されます。

③ 教育機関の役割

- “観光まちづくり”に関する学生フィールドワークの場を設け、学生がまちを知る機会を提供するなど、観光関連事業者や観光関連団体、行政とともに“春日部”を盛り上げていくことが期待されます。

④ 商工会議所・商工会の役割

- 観光振興において、業種の枠を超えた観光関連事業者との調整役として、地域経済の活性化に向けた相乗効果を高めることを担います。
- 観光関連の新規事業や新規商品の開発支援など、商工業者の新たなチャレンジを後押しし、新たな観光コンテンツを生み出す推進役としての役割が期待されます。

⑤ 観光協会の役割

- 観光振興を推進する行政のパートナーとしての役割を担います。
- 観光資源の情報や魅力を広く提供する機能を果たし、観光誘客を推進する役割を担います。
- 観光関連事業者や市民などと連携・調整を図り、観光振興に関する具体的な事業を実施することが期待されます。
- 観光関連事業者や市民などが実施する事業を支援するとともに、観光に関わる人材の育成を担うことが期待されます。

⑥ 行政の役割

- 観光施策の企画立案および計画の推進を行います。
- 本計画に定める観光ビジョンの普及啓発、観光ブランディングを推進します。
- 地域全体を挙げて観光客誘致とあたたかいおもてなし・交流の機運を高めるための活動を広く推進します。
- ①～⑤に掲げる各主体の自律的な取組を支援し、事業者や市民の連携をサポートし、観光ビジョンの実現に向けた具体的な取組を後押しします。

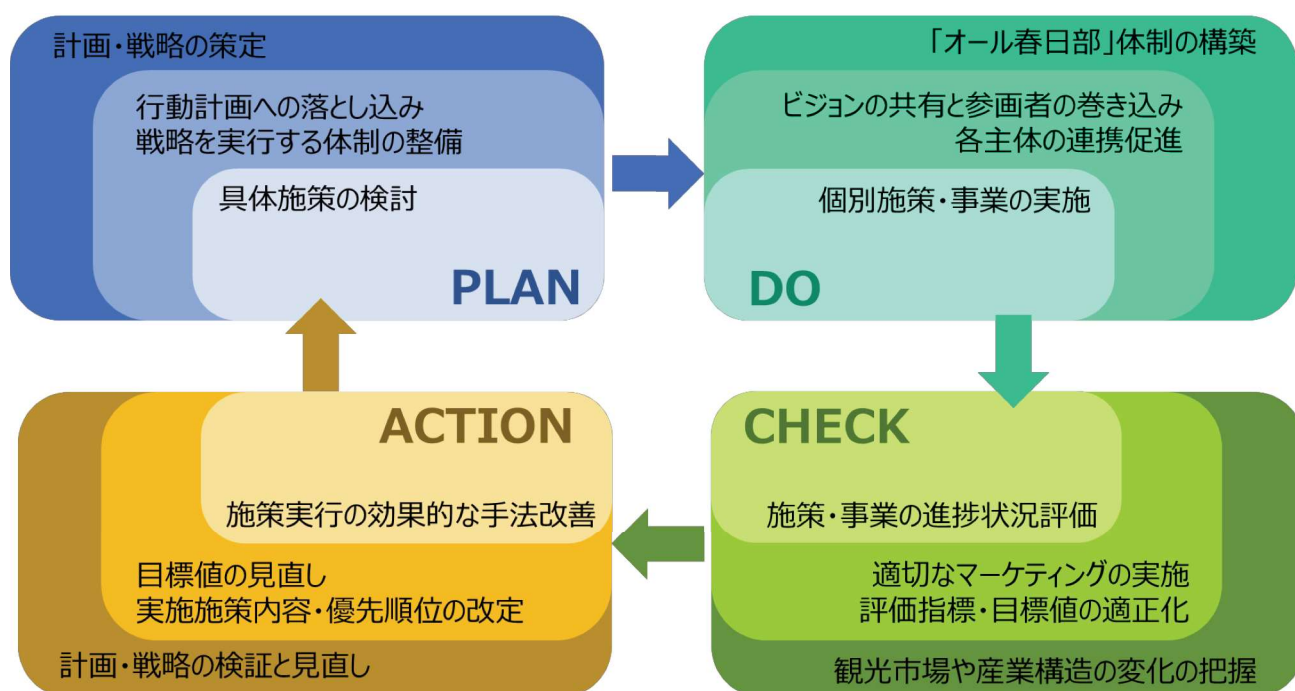


【市の鳥 ユリカモメ】

4-2 計画実施の進捗管理

本計画の進捗管理を持続的に実施するために、市の観光振興の推進にあたり、設置をしている執行機関の附属機関である、観光振興審議会において取組の評価や計画の進捗管理を毎年度実施します。

各施策や事業の進捗状況を把握し、適時のチェック、評価、検証を行い、必要に応じた施策や事業内容の改善・修正を行うPDCAサイクル*④の進捗管理を行い、着実な事業の実施と将来像の実現を目指します。



【古利根公園橋】

*④ PDCAサイクル：マネジメントサイクルの1つで、Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことによって、管理業務を継続的に改善していく手法のこと。行政政策や企業の事業活動にあたって、計画から見直しまでを一貫して行い、さらにそれを次の計画・事業に活かしていくという考え方に基いて行われる。